

新潟市名誉市民章デザイン策定・制作業務仕様書

1 業務名称

新潟市名誉市民章デザイン策定・制作業務

2 目的

新潟市（以下、「本市」という。）名誉市民章の様式となるデザインを策定するとともに、新潟市名誉市民となった方に贈る名誉市民章（1点）を制作する。

3 成果品

- ・本章（リボン・つなぎ等を含む）、本章ケース
- ・本章のデザインデータ一式（PDF及びイラストーターのアウトライン化前後データ）
※略章は制作しない。

4 スケジュール

デザイン決定	令和6年8月下旬
名誉市民章・データ類の納期	令和6年10月29日（火）

5 成果品の仕様

- ・本章は完全オリジナルのデザインとし、直径50～60mm程度の純銀製とする。また七宝仕上げとし、使用する色数は2色以上とする。
- ・本章中央部に直径13mm以上のプラチナ製の新潟市マーク（市章）ノセコを配置する。
本市から受託者に、新潟市マーク（市章）のイラストレーター及びJPEGデータを提供する。
- ・本章又はつなぎ（輪管、ナス管等）の一部に金差し又は金メッキを取り入れる。
- ・本章の裏面に「新潟市名誉市民章」と、裏型を用いて刻印する。
- ・他自治体の名誉市（町・村・区・都道府県）民章などを参考として、格調高いデザインとする。
- ・デザインの中に新潟市らしさを取り入れる。（例えば、新潟市の市民憲章をモチーフとする、新潟市の花（チューリップ）・木（柳）・鳥（白鳥）等を一部デザインに取り入れる等）
- ・本業務に関する、デザイン等一切の著作権は本市に帰属するものとする。
- ・本章ケース蓋内に「新潟市名誉市民章」と名入れする。
- ・本章の金型は、当面の間、受託者が保管するものとする。

6 デザイン策定、本章制作の進め方

- ・提案されたデザイン（複数デザインの提案があった場合は、その中から本市が選択した1案）を元に、校正作業を重ねてデザイン細部を決定する。
- ・細部を詰めていく工程において、受託者は、本章や各パーツの色や形状等について、複数の選択肢を本市に提示するものとする。

7 納品場所

新潟市中央区学校町通1番町602番地1

新潟市役所秘書課（本館3階）

8 その他留意事項

- ・受託者は、本市からの質問等に迅速に対応できる体制を確保しておくものとする。
- ・受託者に不測の事態が生じた際は、速やかに本市に連絡してその都度協議する。
- ・本業務は、この仕様書に記載する範囲とする。ただし、本仕様書に記載がない事項であっても、新潟市名誉市民章デザイン策定・制作業務に関して、受託者が提出書類（提案書等）により提案した事項及び社会通念に照らし、本業務の履行において必要不可欠と判断される事項については、本業務の範囲に含むものとする。また、本仕様書で特に負担者又は負担方法を定めている場合を除き、全て受託者の負担で実施するものとする。
- ・本仕様書に記載された範囲を超えた仕様の追加や変更、疑義が生じた場合は、本市・受託者双方が協議の上、決定するものとする。

9 参考

(1) 新潟市の市民憲章

わたしたちをめざす新潟

信濃、阿賀野のゆたかな川の流が海にそそぎいるところ、ここがわたしたちのまち新潟。日本海に沈む夕日が美しい。海のかなたの国ぐににむけて開かれたこの港まちは、流れのほとりの木のように、いよいよ育ち、栄えている。人びとは、昔から、力を合わせ、ねばり強く、この自由な開かれたまちを築いてきた。

さあ、わたしたちも、いま、たしかな一歩を踏み出そう。

わたしたちが望む新潟をめざして！

ゆたかな海の幸と田畑のみり。

新潟は、自然がいかされ、まもられるまち。

働くよろこび、憩いの静けさ。

新潟は、活気にあふれ、落ちつきのあるまち。

すこやかな生活は、わたしたちすべての願い。

新潟は、みんなで生きるために、助け合うまち。

はぐくむ心が、いのちを育てる。

新潟は、一人ひとりが大切にされ、いかされるまち。

海のむこうは、友となる国ぐに。

わたしたちは、世界の平和のかけ橋となる。 （平成元年4月1日制定）

(2) 新潟市の市章

